

第二十三回帝國議會

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治四十年三月二十一日午前九時四十分開議

出席委員左ノ如シ

根本 正君

榎本次郎右衛門君

楠木 慶二君

荒川 五郎君

大野 久次君

中林 友信君

久保 伊一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 牧野 伸顯君

出席政府委員左ノ如シ

文部次臣 澤柳政太郎君

文部書記官 松村 茂助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

○委員長(根本正君) 是ヨリ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス、一應政府委員ノ說明ヲ御聽スルヤウニ致シマセウ

○政府委員(澤柳政太郎君) 此法律ノ改正案ハ、簡單ニ理由書ニモアリマス通ニ、小學校教員ノ待遇ヲ厚クシテ、永ク其職ニ安センシムルコトヲ主意テ出來テ居ルノデアリマス、即チ其待遇ヲ厚クスルト申シマスノハ、從來ノ退隱料ノ額ヲ、餘程此改正案ニ依ツテ増スト云フ考デアルノデアリマス、極大體ニ申シマスレバ、永ク在職ヲシテサウシテ退職シタ場合、即チ四十年間在職ヲシテ退職ヲ致シマスレバ、從來ノ倍ノ退隱料ヲ受ケルト云フコトニナルノデアリマス、即チ從來ハ四十年在職致シマシテモ、俸給ノ約三分ノ一ニ過ギナカッタモノガ、此度ハ俸給ノ三分ノ二ヲ受ケルコトガ出來ルト云フヤウニナルノデアリマス、勿論其四十年在職シテ其額ニ至リマスマデニハ、階級ヲ作リマシテ、五年毎ニ退隱料ヲ増ス率ヲ増シテ往クト云フ考デアルノデアリマス、平均シテ申シマス、十五年以上増ス割合ガ、從來ハ二百四十分ノ一ツ、一十五年間増シテ參リマシタノデスガ、平均シタ所ヲ申シマス、今度ハ二百四十分ノ四ツ、増シテ往クト云フ割合ニナルノデアリマス、即チ退隱料ノ額ヲ増シテ往クト云フコトガ、最モ此案ノ骨子ヲ致スコロデアルノデアリマス、デ此ノ如クニナリマシタナラバ、小學校教員現時ノ有様ヲ見マスレバ、其俸給ガ甚ダ卑薄デアルガタメニ、何か他ニ位置ヲ求メテ去ラウト云フ考ガ甚ダ盛シテ、現ニ年々々々小學校教員ヲ澤山ニ養成致シマシテモ、其職ヲ去ル者ガ少クナイノデアリマスルカラ、此ノ如ク致シマシタナラバ永ク在職スルト云フ念ヲ起スコトガ出來ルデアラウト思フノデアリマス、即チ永ク小學校教員ノ職ニ安シテ、一生ノ仕事トシテ往クト云フコトモ出來ヤウカト考ヘル次第デアルノデアリマス、其他種々ノ點ニ於テ少シツ、ノ修正ガアリマスレバ、先ツ最初ニ好クナツタ點ヲ申シマスレバ、此四條ノ三ト云フコト、官吏恩給法ノ數個條ヲ準用シテ居リマスルガ、非常事變ノ際ニ小學校教員ガ從軍ヲシタト云フヤウナ時分ニ、其從軍ノ年數ヲ退隱料ノ支給上ニ於テ在職ノ年數ニ加ヘル——加算スルト云フ

ヤウナ規程ガ無カッタガ、之ヲ加ヘルヤウニ致シタノデアリマス、又從來ノ規程ニ於テハ、小學校教員ニシテ市町村等ノ官吏ニ選舉セラレタト云フヤウナ場合ニ、退職ヲスル、其場合ニハ明文ガ無カッタタメニ、自己ノ都合ヲ退職ヲスルト云フヤウニ見做シテ退隱料ヲ受ケル權利ガ得ラレナカッタノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テモ、ヤハリ退隱料ヲ取ルコトガ出來ルヤウニスル、又現ニ小學校教員或ハ校長等ニシテ町村ノ官吏ニ選舉サルコト云フ者ハ往々アルノデアリマス、ソレカラ次ニハ此最後ノ第十二條第二項ヲ左ノ如ク改ムトシテアリマスガ、此扶助金ト申シマスノハ在職中ニ其死亡シタ際ニ遺族ニ給スル金デアリマスルガ、此割合ヲ從來ヨリモ好ク致シタノデアリマス、此ノ如ク……

○荒川五郎君 今ノハドウ好クナツタノデスカ

○政府委員(澤柳政太郎君) ソレハ割合ガ好クナツタノデス、今迄ノハ蒞職版ニシテ差上ケアリマスルガ、此在職シテ三箇年未滿ノ者ニハ本職在任ノ給料一箇月分ト、ソレカラ其後二年以後デスナ、滿一年ヲ加ヘル毎ニ給料ノ年額百分ノ二ニ當ル金額ヲ加ヘテヤルト云フコト、在職年數ヲ一ツニ割ツタ額ヲ月俸ニ乗ジタモノヲヤルト云フコト、其金額ガ從來ヨリハ餘程好クナリマシタノデアリマス、扶助金ノ額ガ——斯ウ云フヤウナ恩給ノ額ヲ良クシタト云フ外ニ、二箇所ホド更ニ從來ヨリモ良クシタ點ガアリマスガ、是ハ主ナ點デアナイ、ソレカラ從來ノト單ニ比ベテ見マスルト、少シ割合ガ悪クナツタト云フコトニ一見シテ見エル點ガアリマスガ、ソレハ最初ノ第四條ノ三項ニアリマスルノデアリマス、料ヲ受ケル者前ニ退職給與金ヲ受ケタルトキハ最初ノ十年間其ノ退職給與金ノ十分ノ一二相當スル金額ヲ退隱料年額ヨリ控除ス」是ハ今マデハ無カッタノデアリマスガ、今度ノ法案ニ於テ之ヲ加ヘタイト思ヒマシタノハ、極ク誠實ニ長イ間續イテ居リマスル者ハ、退職シタ際ニツマリ退隱料ヲ受ケルダケニ止ッテ居リマスガ、十二年ニナリマシテ、一時退職ヲシテ此退職給與金ト云フモノヲ受ケル、ソレカラ再ビ出マシテ、一三三年在職シテ恩給ヲ受ケルト云フヤウナ者ガ往々アリマスノデ、是ニ就イテハ各府縣ノ當局者ガ餘程豫防策ニ窮シテ居ル、病氣デアアルカラ退職ヲスルト云フヤウナ理由デアラフ、ドウモ醫師ノ診斷書モ添フテ居ル、之ヲ拒ムト云フ譯ニ行カナイ、然ルニ間モナク病氣ガ全快シタト云フノデ、他ノ町村カラシテ或ハ同シ町村カラシテ、再ビ任用シタイト云フヤウナコトヲ申出ス、ソレ等ハ全ク退職給與金ヲ一時取ルタメニ退職ヲスルノデアルトヨリ考ヘラレナイノデアリマス、又退隱料ト退職給與金トハ同シ財源カラ出ルノデアリマスガ、ソレヲ見テモ退職給與金ト云フモノハ、餘程多クナツテ居ルヤウナ譯デアリマス、ソレデ一旦退職給與金ヲ受ケタ者ガ、他日退隱料ヲ受ケルヤウニナツタ者ハ、其金額ヲ十箇年ニ割ツテ居ルヤウナ仕組ニ致シタノデアリマス、是ハ從來ヨリ惡クナツタヤウデアリマスガ、誠實ニ小學校教員ヲ終身ノ業トシテ從事シテ居ル者ニ對シテハ、何等ノ影響ヲ及ボサナイノデアリマスルガ、寧ロ相當ノ改正デアラウト思ヒマス、モウ一ツハ第五條ノ改正デアリマス、從來ハ一旦退隱料ヲ受ケテ更ニ再ビ其職ニ出ル、其就職シタ時ノ俸給ガ前ノ俸給ヨリ少クテモ、少ケレバ——極端ニ申セバ一厘デモ一錢デモ少ナケレバ、恩給ト退隱料ト俸給ト併セ得ルト

云フコトニナリテ居ルノデアリマス、是モ實際ニ於テハ往々弊ノアルコトデアリマシテ、恩給退隱料年數ニ達シマスルト、退職シテサウシテ極ク少イ俸給ヲ再ビ就職スルト云フヤウナコトニナリマス、故ニ此五條ノ改正ニ於キマシテ今度ノ俸給ト、ソレカラ既ニ受ケテ居ル退隱料ト合セテ、從前ノ給料額ニ超過シタ時ニハ、其餘計ニナリテ額ヲ退隱料ノ支給ヲ停止スルト云フコトニ致シマシタ、其モ教員ノ待遇ヲ厚クシテ善ク長ク其職ニ留ツテ勉強スルト云フ點ニ付イテハ、何等ノ影響ノナイコトデアラウト思ヒマスノデ、ヤハリ實際ノ弊害ノアルコトヲ認メテ、此改正ヲ致シマシタ、唯從來ノ規定ト比ベマスルト、幾ラカ嚴酷ニナリヤウニ見エラレ、即チ前ノ點ト此點デアリマスガ、實際ハ唯今申シタ通ニ誠實ニ小學教育ニ勤メテ居ル者ニハ何等ノ影響ガナイト云フ 次第デアリマス、大體ハサウ云フ趣意デゴザイマス

○久保伊一郎君 チョット御伺シテ置キタイノハ、此教員ノ待遇ヲ善クスル結果、負擔ノ上ニハ別段變リハナカラウト云フ一昨日ノ政府委員ノ御辯明デゴザイマシタガ、ソレハ從來ノ規定ニ依レバ、町村ガ俸給ノ百分ノ一ヲ國庫納付金カ或ハ府縣納付金カテ所謂納付スル、國庫ハ府縣ニ十分ノ一ヲ下付スル、サウシテ其不足額ハ府縣費デアルト云フ御話デアリマスガ、所デ今マデデアリマスルト十五年テ退イテシマフトシテ、此規則ヲ改正致シマシタ結果トシテ、長ク勤メレバ勤メルダケ大變ニ退隱料ガ多クナルト云フノヲ望ンデ、餘リ退ク人ガアルマイ、サウスルトソレヲ積立テ、置イテ、其元利テ今度退職シタ時ニ退隱料ヲ渡スト云フコトニナルカラ、餘リ負擔ノ上ニハ増加スルト云フコトハアルマイ、斯ウ云フ御說明ニ承ツテデスガ、サウ心得デ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(澤柳政太郎君) 大體ハサウ云フ譯デス

○久保伊一郎君 サウスルト現行法ニ依ッテヤハリ國庫ハ其町村ノ納金ノ二分ノ一ヲ下付シテ居ル、サウスルト若シ其目的通り往カナカッタラバ、結局府縣ガ負擔スルト云フコトニナルノデスナ、若シ目的通り長ク勤メテ與レナカッタ場合ニ於テハサウナルノデス

○政府委員(澤柳政太郎君) 其點ヲ說明致シマスガ、若シ此法律ガ出テモ目的ヲ達シナイ、ヤハリ從來ト同ジニ十五年テ退職スル者ガ多イト云フコトニナリマス云フト、此實際増ス金額ト云フモノハ、餘程僅カナモノニ止マル、長ク留ツテ居レバコソ、從來ノ倍ニマデモ能クナツテ居リマスケレドモ、例ヘバ十五年テ退職スルト致シマスルト、現行法ト改正法トドウ云フ違ガアルカト云フト、現行法ニ依リマスレバ、十六年テ退職シタ退隱料ハ二百四十分ノ六十一ニナル、現在ハ——此改正ニ依リマスルト二百四十分ノ六十二ニナル、ソレデアリマスカラ、極ク簡單ニ申セバ府縣ノ負擔ハ六万一千圓ノトコロガ、六万二千圓ニナルト云フ、唯一千圓ノ違アル、或ハモウ一年餘計勤メタトコロデ六万四千圓デアッテ、詰リ二千圓ノ差ニ止マルト云フヤウナ譯デアッテ、現在ト同ジヤウニ、在職ガ長クシテ退職スルモノト見レバ、其差ト云フモノハソレダケシカナイ、ソレダケノ退隱料ノ額ニ於テハ、餘計ニナルノデス、併シ先刻御話致シマシタ第四條ノ二項ニアリマス、退隱料年額ヨリ控除スル、退職給與金ヲ控除スルト云フコトヲ、新ニ加エマシタノデ、此退職給與金ハ從來ニナカク、多イノデアル、之ヲ控除スルコトニナリマス云フト、或ハ餘計餘ル、目的ヲ達セナクモ退隱料ヲ受ケル者ニ、既ニ退職給與金ガ

ヤッデアレバ、其退職給與金ヲ十年間ハ控除スルト云フコトニナリマスカラ、是デ差引ハ附カウ、ソレカラモウ一ツハ、差引ガ付イテ尙餘リガアリハセヌカ、モウ一ツ第五條ノ先刻申シタ但書規定デ、今マデハ俸給ト退隱料ト合セテ受ケテ居ル、是ガ實際ノ人員ニ可ナリ多イノデス、然ルニ今度ハ現在ノ俸給ト退隱料ヲ合セテ、ソレカラ前ニ退職シタトキノ俸給ヨリ超過シタトキハ、其超過ノ額ハ一時在職シテ居ル間ハ支給ヲ停止スルト云フコトニナリマスカラ、ソレデ十分ニ差引ガ付クデアラウ、今假ニ定メタ場合申シマスレバ、六万一千圓ト六万二千圓ノ差、即チ一千圓餘計ニナルト云フコトノ、四條ノ二項、五條ノ改正ニ依ッテ一千圓トコロノ差デナイ、モット多クノ金ガ餘シ得ルデアラウト云フヤウニナルノデアリマス

○柚木慶二君 此案ハ待遇ヲ厚クシテ、長ク勤メサセヤウト云フノデアリマスカラ、大體良イ案ト私ハ思フノデアリマス、併シ現在ノ實際ニ付イテ少シ伺ヒタイノデアリマスガ、三十年モ勤續シテ居ルモノハ極ク少ナイト思ウテ居ルノデアリマスケレドモ、現在ノトコロ幾年ノモノガ一番長イモノデアッテ、人員ハ總體ニ對シテドウ云フ割合ニナツテ居リマスカソレヲチヨット……

○政府委員(澤柳政太郎君) 唯今ノ御尋ニ對シマシテハ十分調査シタ材料ハゴザイマセヌノデ、ズット以前ニ其調査ヲ致シタトコロガアリマシタガ、段々此手數ヲ省クト云フコトナドヲ行ナツタ點カラシテ、唯今マデハ正確ナル調ガゴザイマセヌノデス、併シ大體カラ見マスルト、現在三十年以上モ在職シテ居ル者ハ全體ノ人員カラ申スト、少ナイト云フコトヲ申サシケレバナラヌ、ソレハ一方ニハ單ニ他ノ職ニ轉ジタト云フバカリデナクシテ、三十年以前ニ於テハ——例ヘバ小學校教員ノ現在ノ數ハ十萬デアリマスケレドモ、過去ニ於テハ漸ク三四萬デアルト云フヤウナ譯デアリマスカラ、其内カラ今日マデ殘ツテ勤續シテ居ルト云フモノハ、現在ノ十萬ニ對照シタラバ極メテ僅デアルト言ハナケレバナラヌ、現在ノ此教員ノ總數ニ付イテノ在職ノ割合ハ分ツテ居リマセヌガ、退隱料ヲ受ケテ居ル者デスナ、既ニ退職シタ其人數ハ無論分ツテ居リマス、現在ハ三千餘リ退職シテ、退隱料ヲ受ケテ居ル者ガアルノデアリマス、其中ノ半バデスニ在職十五年、十六年、十七年、此三箇年ニシテ退職シタ者ガ其半ヲ占メテ居ルト云フヤウナ譯デアリマス、アト十八年以上三十年位マデノ者ハ、至テ僅デアルト云フヤウナ有様デアリマス

○荒川五郎君 此案ハ大體好クナツテ居ルヤウニ考ヘマスガ、併シ此文面ヲ見マスルト、官吏ノ恩給法ト同様ノ趣意ノヤウニ規定シテゴザイマスルガ、併シ此官吏ノ恩給ハ在職當時ノ賞與ノ意ヲ含ンテ居ルモノデアアル、併シ小學校教員ノ退隱料ハ即チ恩給ニアラズシテ、文字ノ通り退隱料デアアル、是ハ我一代ノ精力ヲ國民教育ニ竭シテ、所謂竭盡シテ、サウシテ退隱料、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ養老金ヲ貰フト云フ趣意デアリマスルカラ、從ッテ其退隱料ヲ給與スルト云フ精神ハ、官吏ノ恩給ト異ニシテ、此文面ハ現ハレテ來タト言ハナケレバナラヌコトニ思フノデアアル、其精神カラ見マスルト、此改正案ノ中ニ付イテ二三個條ノ疑義ガ起キマスルケレドモ、今日切迫ノ時デアリマスカラ、ソレ等ニ向ッテイロイロ申上ケルノハ徒ニ紛糾ヲ試ムルモノト考ヘマスカラ、主モナルトコロニ付イテ一質問ヲ申上ゲテ見タイト思フ、第四條ニ在職四十年トアリマス、二十歳ノ人が教員ヲ始メテ四十年ハ六十年、六十年ハ大抵宜カラウト云フノデアリマスルガ、併シ此教員ハ其人ノ

感化、徳望が第一デナケレバナラヌ、今日風教トカ、感化トカ云フコトハ總テ言ハレルニモ拘ラズ、案外其方ハ進ンデ居ナイ、總テノ標準ハ皆學科ナリ、或ハ平生ノ成績ノ狀ニ付イテ、多クハ總テノ標準ヲ定メルト云フヤウニナッテ居リマシテ、人格ヲ造ルトカ、養育トカ云フコトハ、徒ラニ人民ニ必要デヤト稱ヘラレルノミデアツテ、實際ノ獎勵方ハ、實際ノ標準ノ取り方ハ一體ニ行ハレテ居ナイヤウニ思ハレルノデアル、デ是等ハ將來國民ノ品位ヲ造ル上ニ就イテ非常ニ大切ナコトデアツテ、知識アル國民、ソレガ義理モ道徳モ顧ミヌヤウナ國民ニナッタナラバ、國家將來ニ非常ナル危險ヲ醸スモノト言ハナケレバナラヌ、シテ見ルト風教或ハ感化薫育ト云フ上ニ於テハ、法令ナリ其他ノ手段ヲ以テ十分ニ出來得ル方法ヲ講ジネバナラヌデゴザイマス、教員ノ如キモノハ他ノ官吏ト違ッテ、一ハ年齢ニ大ニ關係ヲ致シマス、官吏ハ若クシテ所謂新知識ガ宜イカモ知レマセヌガ、教員ハ兒童ノ心性ナリ其平常ヲ善ク吞込シテ、兒童ニ對スル同情心ヲ以テ之ヲ引立テ、老成ノ人物ヲ教育社會ニ長ク留メテ置クト云フコトハ、國民教育ノ上ニ最モ必要ノコトデアラウト信ジマス、シテ見レバ官吏ノ如ク四十年ニ限ラナイデモ四十年以上ニ及ンデモデス、之ヲ獎勵スルノ道ヲ開クノ必要ガアラウト思フノデアリマス、殊ニ此教員ハ退職シタ後デモ感化ヲ有ツノデアリマスカラ、他ノ官吏ハ役ヲ罷メレバソレギリデアリマスケレドモ、教員ノ感化ハ決シテ在職當時ニハ限ラナイノデアリマス、私共小學校ノ先生ニハ小學校ヲ離レタ後今日教ハ更ニ受ケナイケレドモ、其先生ノ感化ヲ受ケテ居ル、ソレハ先ヅ感化自然ノ法デアリマスケレドモ、サウナクシテモ教員ガ罷メテモ其地方ニ居レバ感化ヲバ其地方ニ致シ、殊ニ此老教師ノ感化力ト云フモノハ、決シテ老官吏ト違ヒ、此兒童ノミナラズ父母ニ對シテモ非常ニ效ノアルモノデアリマスカラ、ソコデ四十年ニ限ラナイデモ、四十年以上ハ甚ダ稀ニ見ルコトデアリマセウケレドモ、四十年ニ限ラナイ、尙其上ニモ獎勵ヲシテ、所ガ人ハ年ヲ取ルト老朽ニナル、老衰ニ陥ル、ソレヲ老衰シ老朽ニナッタ者マデモ、ソコニ保持シテ却テ教員ハ、教育社會ハ老朽ノ巢ニナルヤウデモイケマセヌカラ、ソレハ老イテ益々健カニ、老イテ倍々新智識ヲ輸入スル方法ハ、此法令ノ上ニ成ルベク斟酌ヲシナケレバナラヌケレドモ、ソレハ遺方ガアラウト思フデアリマスカラ、四十年以上即チ年齢六十以上或ハ七十ノ老人ニナツテモ、其人ガ老イテ倍々健カニシテ、益々新智識ノ吸收ニ努メ、兒童ニ感化ヲ與ヘルト云フコトニナリマスレバ、日本ハ僅カニ一サウ云フ教員ガ居リマシテモ、我日本ノ幸福ハドレダケカ解ラナイノデ、其感化ニ依ッテ得タル人ガ國ノタメニ又如何ナル力ヲ盡スニ至ルカモ知レヌ、デアルカラ此在職四十年以上ハ幾年ニナツテモ率ヲ増サナイト云フコトニシナイデ、尙其以上ニモ假令稀ニアルベキ事實ニシテモ、其途ヲ開イテ置イタ方ガ宜カラウト考ヘルノデアリマスガ、ソコハドウ云フモノデアリマスガ、是ガ第一點ノ質問デゴザイマス、次ニ第四條ノ第三項ハ御說明ニ依リマシテ、大體ノ趣意ハ成程宜カラウト考ヘマスル、併シ教員ニシテ一旦退職シテ退職給與金ヲ受ケテ、サウシテ直チニ又復職シテ、將來ノ退隱料ヲ受ケヤウ、詰リ一度ノ退職給與金ヲ餘計ニ儲ケヤウト云フヤウナコトガ、マア小學校教員ニハソレガアツデハナリマセヌガ、アツタニシタコロデ一方ニ又教員ノ勤績ヲ獎勵スル途ハ年功加俸ト云フヤウナモノモゴザイマスカラ、幾年カノ年功加俸ヲ棒ニ振ッテ、サウシテ退職給與金ヲ受クルコトガ必ズシモ利益益デナイカラ、其人ノ事情ニ於テ事情已ムラ得ヌコトデ退職シタ事實ガアルニモ拘ハラズ、此箇條

ガアルト云フト、退職給與金ハ他日ニ於テ皆取返サナケレバナラヌ、今日受ケタ退職給與金ト他日受クル金ニ於テハ、年々此世ノ變遷ト共ニ諸式ガ騰リマスカラ、其時分ニハ養老金ト云フモノ、中カラソレダケ引カレルト云フコトハ、其人ノ養老ヲ爲ス上ニ於テ困難ヲ感ズル、世ノ中ノ物價ガ今日ノ如クイツマデモ續ケバ宜シイ、ソレデモ引カル、ト云フコトハ苦シイ上ニ、世ノ變遷ニ伴ウテ諸式ハ騰ルニ於テハ、非常ノ困難ヲ感ジナケレバナラヌ、ソレヲ此法文デハ皆ラ屎サセルヤウニナツテ居ルガ、其間ニモウ少シ緩ミテ置イテハ如何ナルモノデアラウカ、ソレハ一切取ラヌコトニスルノモ、或ハ卑劣ナ教員ガ起ルカモ知レマセヌカラ、此箇條ガアツテモ宜シウゴザイマスガ、先ヅ普通金利カラ云ヒマシテモ、五分トカ何トカ割合ガアルモノデアルノニ、是ニハ一割ヅ、年々取ルト云フコトハ、普通金利ニモナイコトデアリマスカラ、其間ニモウ少シ緩ミテ附ケマシテハ、如何ノモノデアラウカ、是ガサウシテハ其間テ退職給與金ヲ取ル者ガ殖エルト云フヤウナ事情ガゴザイマスカドウカ、是ガ第二段ノ質問デアリマス、第三段ニ此本案ノ大體ニ關係シテノ御尋ガアリマスガ、今日ノ官報ヲ以テ小學校令ガ改正ニナリマシテ、一通マダ文面ヲ讀ンダノミデ、能クハ從前ノ法令ト併セテ研究ハ致シマセヌガ、要スルトコロハ尋常小學校即チ義務教育ノ年限ヲ六年ニシタト云フコトデアル、多年世間ニモアツタ問題テ、政府ノ希望通り六年ニセラレタ、ソレハ宜シウゴザイマスガ、今日デスカラ教員ガ非常ニ不足ヲ致シテ居ル、六年ニナッタナラバ尙モ教員ノ數ハ不足スルデアラウ、四ヶ年デハ普通國民タルベキ人ヲ造ルニ程度ガ及バヌノデアルカラ、六年ニシヤウト云フコトハ宜シイケレドモ、徒ニ六年ニシタノミデ、ソレヲ教育スル機關若クハ指導者、ソレガ完全シナケレバ、尙二年限ヲ延バシテ物ヲ容ル、ト云フノミデ、或ハ實際ニ年限ヲ延ビタト云フダケノ効能ハ甚ダ乏シイカモ知レヌ、勿論我家庭ニ依ッテ秩序アル教育ヲ受ケナイヨリハ、縱令不完全ニシテモ學校ニ居レバソレ丈ノ兒童ニ効力ハゴザイマセウケレドモ、併シ教員ハ今日デスラ不足シテ居ル各地ノ費用ハ今日デスラ逼迫シテ居ル、其上ニ教場ヲ殖ヤシ、教員ヲ殖ヤシ、諸設備ヲ殖ヤシ、其費用ト云フモノハ少ナカラズ、而モ是ガ完全ニ教育ヲ施スコトガ出來ヌトスレバ、年限ヲ延バタト云フ文ノ効能ハ、或ハ今日ノ教員不足設備ノ不足ノ上カラ見レバ、甚ダ不十分デアアルマイカト思フノデアリマス、ソレニ就イテハ二部教授ト云フコトガ研究セラレテ、四箇年教育ノ二部教授、或ハ六箇年教育ノ二部教授モ御研究ニナツテ居ルト云フコトハ聞キマシタガ、一二ノ學校ガ二部教授ハ是丈効ガアルト云フコトヲ申シ出タニシテモ、是ハ唯理ヲ以テ往ケルト云フ途ヲ攻究スルノミデ、四箇年間日々ニ當ル教員ハ唯斯ウシタラ往ケルモノデアルト云フ最大標準ノ通ニ、日々ノ座作運動ガ出來ルモノデハナイノデアル、澤山ノ教員ノ置イテ居ル高等師範、或ハ普通師範ナドニ於テ研究シタルコトハ、唯往ケ得ベキ途ヲ往ケルト云フ丈デ、實地ニ行フノニハ非常ニ無理デハナイカト思フ、若シ之ヲ二部教授ニスルト云フコトナラバ、今日デモ教員ヲ優待シナケレバナラヌ、非常ノ優待デヤナイ、相當ノ待遇ヲシナケレバナラヌ、相當ノ待遇ニ至ッテ居ラヌノデアル、ドウカ教員ノ相當ノ待遇ニシテ地方感化ノ中心トナツテ、國民ノ品位知識ヲ進メタイト云フコトハ、苟モ國ヲ思フ人ノ皆望ンテ居ルトコロデアリマスガ、今日デスラ斯ノ如キ薄待デアルト云フコトガ世間ノ輿論トナツテ居ルニモ拘ハラズ、其教員ヲ擧ゲテ二部教授ニ、即チ一倍ノ勢力ヲ將來ニ用ヒョト云フコトハ、僅ニ唯今出テ居リマスル退隱料

扶助料法ノ法律ニ多少ノ改正位ナコトデ、一方ニ於ケル教員ノ虐待ハ非常ナモノデア  
ラウカト思フノデアリマス、ソレニ就イテハ政府ハドウ云フ御考デアリマスルカ、兒童ニ當ル  
教育ノ職ハ、決シテ學校ノ教授時間ヲ以テ算用スベキモノデアナイ、又二部教授ガ完全  
ニ行ハレタニシテモ、目的通り行ハレタニシテモ、今迄ノ一部教授ヨリハ、必ず不十分  
デアラベナラヌ、サウストル四箇年ノモノヲ六箇年ニ延バシテモ、徒ニ一方デハ教員ヲ虐  
待致シテ、サウシテ一方ニハソレ丈ノ利益ガ無イト云フコトニナリハシナイカト思フノデアリ  
マス、其六箇年ハ如何ニシテ今日ノ世ノ中ニ其法ヲ行ハセラレル積リテアルカ、且ツ今日  
ノ教員ノ俸給若クハ其他ノ上ニ於テ尙優待ノ途ヲ御開ニナル御積テアルカ、其方針ハ  
如何デアルカ、此大體ノ教員ノ待遇ノ御方針ハ本問題ニ最モ重大ノ關係ノアルコト  
ト信ジマスカラ、其點ヲ第二ニ御伺ヒ致シテ、サウシテ尙細カイ事ヲモ一ニ御伺ヒシタイ  
考イデゴザイマス、此三點ノ御説明ヲ煩ジマス

○政府委員(澤柳政太郎君) 教育ニ於テ感化薫育ヲ重ズルコト云フコトハ、誠ニ荒

川君ノ御話ノ通りデアリマス、サウシテ其感化ト云フモノハ一二ハ智徳即チ年齢ニ待ツ  
ト云フコトモ、當局ニ於テモ承知シテ居ルコトデアアルノデアリマス、併シナガラ全體ニ對シ  
マシテハ先ツ同職務ニ四十年モ從事シテ居ル、ソレヲ標準トスルコトハ相當デアアルマイ  
カ、而モ四十年在職スレバ直チニ退職シナケレバナラヌ、退職ヲシテ與レト云フ譯デア  
イノデアリマスルガ、一般ヲ律スルニハ先ヅ、四十年ヲ標準トシテ相當ノモノデアナイカ、  
師範學校ヲ卒業シマスル者ニ付イテ考ヘテ見マスレバ、二十一二三ニシテ卒業スル、ソレヨ  
リ四十年間モ繼續シテ居ルト云フコトデアッタナラバ、先ヅ其人ハモウ十分ニ盡シテ者  
デアリハシナイカト思フノデアリマス、又稀ニ老イテ益盛ナル人、感化ノ一郷ニ及ブト  
云フ人ガアリマシタラバ、是ハ又固ヨリ種々ノ方法ヲ以テ優遇スルコトヲ講ジナケレバナ  
リマセヌノデ、即チ特ニ其俸給ヲ厚クスルト云フコト、或ハ又他ノ其人ノ名譽ヲ表彰ス  
ルト云フヤウナ方法モ執リ得ルコトデアリマスノデ、サウ云フ人ガアリマシタラバ、國家モ府  
縣モ町村モ有ラユル方法ヲ盡シテ優待シテ宜カラウト思ヒマスノデアリマスカラ、ソレ等  
ノ方法ニ依ッテサウ云フ有徳ナ人ヲ待ツ途ガアリハシナイカ、先ヅ退隱料ノ在職年數ノ制  
限ヲ定メルノハ、四十年位ガ相當ノコトデアアルマイカト云フ原案ノ趣意デアアルノデアリマ  
ス、次ニハ此退職給與金ヲ控除スルノハ少シクユトリ付ケタ方ガ宜クハナイカト云フ御  
話デアリマスガ、是モ實ハ多少ノ効力ガアルデアラウト思ウテ居ルノデアリマスガ、若シ其  
利子ノ計算デモ致ストカ云フヤウナコトニナリマスルト、假令是又控除サレテモ一時退  
職ヲシテ退職給與金ヲ貰フテ置イタ方ガ利益デアアル詰リ其利子ト云フモノガ若シ一割ニ  
廻ッテ往クモノデアラナラバデス餘程利益ヲスル譯デアリマス、即チ十箇年ニ互ッテ此方ニ  
取ルト云フ譯デアリマスカラ、或ハソレハ無論一割ニ廻スト云フコトガ出來ヌ譯デアリマス、  
僅カ五分カ四分ノ利子ニシテモ利廻リト云フコトヲ考ヘレバ、一旦受ケタモノヲ數年後  
或ハ十年ノ後ニナリマスルカ、ソレヲ其時カラ始メテ更ニ二十年間二十分ノ一ツ、ヲ控除シテ  
往クト云フコトデアリマスルカラシテ、格別ナ苦痛ヲ與ヘルト云フコトハ無カラウト云フヤウ  
ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ第三ノ義務年限ヲ延長シタニ付イテ、教員ノ缺乏、二  
部教授ヲ施行スル等ニ依ッテ云々ト云フ御尋デアリマスガ、成程義務年限ヲ延長致シマ  
シタニ付イテハ、一部教授ニ依ラナレバ之ヲ實行スルコトガ出來ナイト云フ場合ニ於テ

ハ、一部教授ヲ實行スルモ宜カラウ、殊ニ尋常一二年ノ如キ幼年兒童ニ對シテ一部教  
授ヲ施行スルコトハ、教育ノ效果ノ上ニ於テモ、甚ダシキ違ノナイコトデアリマスカラ宜カ  
ラウト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ此四箇年ノ義務年限ヲ六箇年ニ延長致シマシテモ、  
直ニ五割ノ増加ニナルト云フ譯デアリマセヌノデ、從來任意ニ高等小學校ト云フモノ  
ヲ、市町村ニ於テ立テ、行ク統計面ニ於テハ、尋常小學校ヲ卒業シタ者ヲ入レテ居ル、  
其割合ガドウナッテ居ルカ、尋常ヲ卒業シタモノモ、全國テ六割ハ現在既ニ高等小學校  
ヘ侵入シテ行クト云フ譯ニナッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ殘ル所ハ極ク少ナイ、其殘ノ四  
割ヲ法令ヲ以テ義務トシテ、更ニ二年ノ教育ヲ受ケサセルト云フコトニナルノデアリマス、ソ  
レ故ニ全國ニ於テ此爲ニ増加スル學級數ノ如キモ、非常ニ大ナルモノデアリマセヌノ  
デ漸ク六千八百位ノ學級數ガ殖エルコトニナルノデアリマス、ソレ故ニ此六千八百ノ學  
級ニ對シテ、一部教授ヲ行ハバ、人ノ上ニ於テモ校舍ノ上ニ於テモ、殆別ニ費用ヲ要  
セヌ、一部擔當スル教員ニ、多少ノ手當ヲ給スル費用サヘアレバ宜イト云フコトニナル次  
第デアリマス、而モ町村ノ經濟ニ依ッテハ、擔當教員ヲ入レテモ宜イ、又普通教師ヲ往  
ケル所ハ、無論ソレデ差支ナイコトデアリマスカラシテ、全國ニ於テ一部教授ヲ行フト  
云フヤウナ場合ハ、其半ニモ及ブマイト思フノデアリマス、サウ致シテ見マスレバ二部教授  
ヲ全國各府縣ヲ行フト云フ場合モ、サウ或ハ世間テ想像シテ居ル如クニ多イ譯デア  
ト思ヒマス、又一方ニハ教員ハ年々増加ヲ致シテ行ク傾ガアリマスノデ、殊ニ唯今問題  
ニナッテ居ル此法案ノ如キカ通過致シマスレバ、非常ニ他ニ轉職スル者ヲ防グコトガ出來  
ルデアラウト云フ、當局者ハ餘程望ヲ屬シテ居ルノデアリマス、現在七千位年々新シイ  
教員ヲ造出シテ行クノデアリマス、師範學校テ四千ノ教員ヲ養成シ、檢定試驗等ニ依ッ  
テ二千餘リノ資格者ヲ作ッテ行ク、然ルニ正教員ノ増加シテ行ク額ハ、統計ノ上テハ漸  
ク一千人餘ヨリナイ、詰リ六千人近クノ者ハ死亡シ、或ハ退職シ或ハ轉職スルト云フ  
ヤウナ有様デアリマスル、然ルニ此法案ガ通過致シマスレバ、全部ヲ喰止メル事ガ出來  
セヌデモ、餘程多クノ他ニ轉職スルモノヲ、防グコトガ出來ルデアラウト云フヤウナ考デア  
リマス、又現ニ唯今申ス通り一千餘リノ正教員ノ數ハ年々殖ヘテ行ク譯ニナッテ居リマ  
スカラ、教員ノ上ニ於テモ甚ダシイ缺乏ヲ感ズルコトハ無カラウト思ヒマス、又教員ノ待  
遇ノコトニ就イテハ、曩キニ根本君カラモ御質問ガゴザイマシタノデ、今御答ヲシマスガ即  
チ退隱料ノ如キモ優待スル一ツノ法デアリマスガ、尙今日ノ俸給其者ガ決シテ相當デア  
ルトハ、當局ニ於テハ考ヘテ居リマセヌカラ、之ニ就イテモ講究ヲ致シ、其講究調査ハ餘  
程歩ヲ進メテ居リマスカラシテ、其中ニ教員ノ俸給ヲ尙厚クスルト云フコトモ、實行ヲ見  
ルコトガ出來ルデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ次第テ義務年限延長ノ効果  
ハ、十分圓滑ニ之ヲ見ルコトガ出來、其實施ハ甚ダ困難ナコトデアナカラウト思フシ、又  
教員ヲ非常ニ働カシテ、之ヲ虐待スルト云フヤウナコトニ就イテモ、其努力ニ應ジテ待遇  
モシ、即チ一部教授ヲ擔任スル者等ニハ別ニ手當ヲ與ヘルト云フコトヲ獎勵ヲ致シテ居  
ル、現ニ府縣テ行ッテ居リマス、現在ニ於テモ、或時間ニ餘分ノ授業ヲ受持タセタ者ニ  
ハ、相當ノ手當ヲ給スルト云フ規程モ設ケデアリマス、一方ニハ唯今マダ具體的ニ申上  
ゲルコトハ出來マセヌガ、俸給ト云フモノモ經濟ノ許ス範圍ニ於テハ、高メテ行キタイ、又  
希望ハカリテナク、其希望モ近イ中ニ事實ニスルコトガ出來ヤウト信ジテ居リマスカラ、左



様御承知ヲ願ヒタイ

○中林友信君 私モ一二質問シテ見タイコトガアリマス、教員ノ待遇ヲ能クシタイト云フコトハ、吾々ノ前々ヨリ希望シテ居ルコトデ、同時ニ各府縣教育會、若クハ帝國教育會等ニ於テモ、イロ／＼教員ノ待遇ニ就イテ調査モシ若クハ其筋ニ稟請シタ場合モアルヲラウト思ヒマス、今回提出サレタ小學校教員退隱料及遺族扶助料ニ付イテハ、各種ノ教育會ノ方ヘ何カ諮問デモサレタコトデゴザイマセウカ、或ハ教育會ヨリ希望ヲ述ベ、若クハ建議デモシタ件デモアリマス、事些細ナヤウデゴザイマスケレドモ、教員ノ待遇ヲ能クシテ行ク上ニ於テ、縦合私立ニシロ教育會ト云フヤウナ一ツノ機關ガアルノデゴザイマスカラ、ソレ等ノ希望ヲ容レラレタノカ、如何ト云フコトト、同時ニ府縣知事等ニ諮問デモアツタノデゴザイマスカト云フコトヲ伺ヒタイ、第二ニハ師範學校ヲ卒業シタ者ト、檢査試験ニ依テ教員ニナツタ者トノ勤續ノ工合ハ、ドウ云フ風ニナツテ居リマス、第三ニハソレト同時ニ諸教師ノ勤續ノ狀況ハドウ云フ風ニナツテ居リマス、其次ニハ此表ヲ見マスルト、十五圓未滿カラ二十五圓未滿ト云フコトデハ、十二圓ノ差額ニナツテ居ル、二十五圓以上三十圓未滿ノトコロカラ、二十圓以上三十五圓未滿、此二階級ハ九圓ノ差額ニナツテ居リマシテ、ソレカラ三十五圓以上四十圓ノトコロマデハ、十五圓ノ差額ニナツテ居ルヤウデゴザイマス、而シテ現行法ニ依リマスル表ヲ拜見致シマシテ、之ヲ對照シテ見マスルト、二十圓以上二十五圓未滿ト云フコトマデハ、最高額ヲ取ラレテハ居ナイカト云フ疑ヲ生ズルノデゴザイマス、即チ現行法ノ十六圓、八級ノ所デ十五年勤續ノ者ガ四十八圓トナツテ居ル、ソレカラ六級俸ノ二十四圓ノ俸給ヲ取テ居ル者ガ、十五年勤續シテ七十二圓トナツテ居ル、此處マデハ二十四圓ト云フ所ノ程度ヲ標準トシテ立テラレテ居ルヤウニ思ヒマス、ソレカラ三十圓以上三十五圓未滿ト云フ所ニナツテ、現行法ノ五級俸ト四級俸トノ間ノソコノ所デハ、最低額ハ三十圓ヲ標準トシタ、九十圓ヲ以テ退隱料トシテアルヤウニ思ハレマス、其次ノ三十五圓以上四十圓ト云フ所ニナツテモ亦二十五圓ト云フ最低額、即チ十五年勤續シタル者ハ百五圓ノ退隱料トナツテ居ル、是ハ何カ十五圓未滿カラ二十圓ニ至ル間ハ少シ好クシテ二十五圓カラ四十圓ノ間ハ少シ輕クスルト云フコトハ、何カ理由ガアルノデアリマス、私ノ考フル所デハ、三十圓以上四十圓ノ間ニ於テ小學校ノ校長ガ多イダラウト思フノデゴザイマス、校長ガ多イモノトスレバ、此校長ノ退隱料ガ却テ少シ低クナツテ來ルト云フコトハ、逕申シマスル教育ヲ優待シテ行クト云フ上ニ於テノ趣旨ニ、少シ背イテ來ヤシナイカト云フ疑ヲ生ズルノデゴザイマスカラ、此九十圓百五圓ト云フ所少シ低クナツテ來タト云フコトニ付イテハ、何カ他ニ特種ノ理由デモゴザイマスカ、之ヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(澤柳政太郎君) 最初ノ御尋ニ先ヅ御答致シマスルガ、是ニ付イテハ別段教育會等ニ、文部省カラ諮問シタコトハアリマセウガ、度々各府縣ノ教育會或ハ帝國教育會等ノ決議トシテ承ツテ居ルノデアリマス、近クハ建議書ヲ或教育ノ團體カラ文部省ノ方ニ出シタモノモアリマシテ、ソレ等ノ意見ヲ參酌シタ次第デアリマス、併シ計算ヲ致シテ見マスレバ、實ハ是丈迄ニ支給スルコトガ出來ルト云フコト、諸所ノ教育會ナドノ希望ハ、三分ノ一マデヤリタイト云フヤウナ希望ヲ出シタノハ少ナイノデ、精々二分ノ一位マデノ希望ヲ持出シテ來テ居ルノデアリマス、之ヲ計算シテ見マスルト格別ニ負擔ヲ増

サズシテ、三分ノ二ニ至ルコトガ出來ルト云フコトニナリマシタカラ、其希望以上ニ實ハ出デタヤウナ次第デアアルノデアリマス、現ニ此帝國議會ヘ請願書ナドヲ本年出シテ居ルノヲ見テモ、ヤハリ二分ノ一マデノ退隱料ヲヤツテ貰ヒタイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ府縣知事ニ對シテモ別段ニ諮問シタコトハアリマセウ、府縣ノ方ニハ關係ヲ致スコトデアリマスカラ、内務省トチヨット協議ヲ盡シタコトハアリマスガ、別ニ府縣ノ負擔ヲ増サナイト云フコトデゴザイマスカラ、府縣知事ニ諮問スル必要ハ認メナカッタノデアリマス、ソレカラ此表ノ方ノコトデアリマスガ、是ハ大體ニ於テハ此十五年ノ所ハ現在ト違ヒハナイ、ツマリ二百四十分ノ六十ト云フモノヲ以テ初メテヤルノデアリマス、然ルニ此表ノ方ニ於テハ幾分カ簡略ニ致シマシテ、現在見マスルト、十五圓未滿ノ方ハ人モ多クアリマスカラ、ソレモアル譯デアリマスガ、十五圓未滿ノ者ニ對シテハ十五圓丈ニ相當スル恩給額ヲ遣ラウト云フコトニナリマシタ、ソレカラ俸給ハ十五圓ト二十圓ノ間ニイロ／＼ノ階級ガアリマスケレドモ、是モ一ニ割合ニシヤウト云フコトニナツテ居リマスノデ、大體ハ從來ノト變ラヌデアリマス、三十圓以上ヲ特ニ薄クスルト云フヤウナコトハナイノデアリマス、表ニ於テ殊ニ斯ウ列ベテ書イデアリマス分リマセウガ、此五年毎ニ段々増ス率ガ多クナツテ來テ居リマス、十五年デ十九圓、二十年デ二十四圓、二十五年デ幾ラト云フヤウナ工合ニ段々五年毎ニ大變率ガ餘計ニナツテ行クノデアリマスカラ、其邊ヲ御注意迄ニ申上ゲテ置キマス、最初ノ十五年ノ所ハ現行ト大躰ニ於テ同シアル、唯間ノ俸給ヲ皆一率デヤラウト云フコトニ致シタタメニ、唯今ノ疑ガ出タノデアラウト思ハレマス、ソレカラ一番上ノ方ノ欄デ、七十五圓以上ノ百圓迄至ルコトガ出來マスルガ、ソレハ七十五圓ノ額ヲ以テ止メテヤルト云フノハ、既ニ月俸ヲ七十五圓取ルモノニナリマスレバ、他ノ官吏ニ較ベマシテモ決シテ薄イト云フコトハナイノデアリマスカラ、先ヅ七十五圓ノ俸給ヲ止メテ行カウト云フコトニ致シテアルノデアリマス、ソレカラ師範學校ノ卒業生ト檢定試験ヲ出タモノト勤續云々デアリマスガ、是モ十分正確ナ調査ハゴザイマセウガ、師範學校ノ卒業生ハ兎ニ角十年間ハ勤續シナケレバナラヌ義務ヲ有テ居リマスカラ、比較シマスルト師範學校ノ卒業生ノ方ガ、餘計勤續スルト云フコトナツテ居ルノデアリマス、唯正確ニドレ丈ノ割合ニナルト云フコトハ、申上ゲラレマセウガ、單ニ師範學校ノ卒業生ノ平均勤續ヲ申上ゲマシタノデアリマス、ソレカラ女子ノ教員ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノ通り其義務年限モ僅ニナツテ居リマスルノデ、即チ半分ニナツテ居ルノデアリマスカラ、是ハ男子ニ較ベマスルト、比較的勤續年數ガ少ナイノデアリマス、殊ニ結婚等ノ關係モアリマシテ、事情ヲ酌量シテ退職ヲ許スト云フコトモゴザイマス、故ニ女子ノ退職年數ハ男子ニ較ベマスルト餘程少ナイト申サナケレバナラヌト思フノデス

○中林友信君 此ノ市町村長ノ證明ト云フ文字ハ、現在ニ於テハ餘リ煩雜ノミデアルト云フノデスカ  
○政府委員(澤柳政太郎君) 一體教員ノ進退ハ、府縣知事ガヤルト云フコトニナツテ居ルノデス、其上ニ市町村長ノ證明ヲ取ルノハ、殆ド無用ナコトデ、實際必要モアリマセウカラ、ソレデ之ヲ除クト云フコトニシタノデ、唯繁文ヲ省略スルト云フニ過ギヌノデス  
○委員長(根本正君) ソレハ質問ハ盡キタヤウデスカラ、全部ノ議題ニ供シマス  
○荒川五郎君 チヨット意見ヲ申シマスガ、此第四條ノ四十年以上、是ハ費用モ要ラ

又コトナラ獎勵的ニナルヤウ其途ヲ開カレタ方ガ宜カラウト思フノデス、ドウカ諸君ノ御贊同ヲ仰ギタイ考テ、四十年以上ニモ其割合ヲ増シテ與ヘルト云フコトニ願ヒタイノデス、ケレドモ老朽ニナッタ者ニモ皆ヤルト云フコトニナッテハイカヌカラ、老朽ニナラヌヤウニ修養ヲ努ムルト云フコトヲ教員ニ獎勵スル必要ガアリマスカラ、ソレ故ニ年限ガ四十年以上ニ達シテモ、年數サヘ經テハソレテ宜イト云フコトニシナイテ、先ヅ大體ノ趣意ヲ本文ノ通ニシテ但書ヲ置イテ、チヨット其文案ヲ申シテ見マスルト「道廳長官府縣知事ニ於テ特別ノ功勞アリト認ムル者ニハ文部大臣ノ許可ヲ得テ四十年以上ノ在職者ニ對シ四十一年ノ退隱料ニ十分ノ一ヲ加フ」斯様ナ但書ヲ加ヘタイノデス、此支廳長官ガ申請シマスルニ老朽テ役ニ立タヌ者ハ進メナイカラ、年ハ長ケテモ所謂老衰老朽ニナラヌデ、老健ニナルヤウニ獎勵スルニハ年限ノミヲ以テシナイテ、其功績ヲ認メタモノニ尙以上ニ與ヘル途ヲ開イタナラバ、極メテ稀ナルコトデゴザイマセウケレドモ、尙智德ノ高キヲ貴ビ感化ノ大ナルヲ重ズルト云フ精神ヲ現ハシテ、一層優待ノ獎勵ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヤウト思フノデス、餘リソレガタメニ費用ノ増加スルト云フ程ノコトデアアルマイト信ジマスル、旁々四十年以上ノ者ニシテモ特ニ鄭重ナル扱ヲ以テ、文部大臣ノ許可ヲ得テ尙其以上ニ附加シテ、退隱料ガアルト云フコトニナリマスレバ、教育者ヲ獎勵スル功大ナリト信ジマスカラ、文面ハ宜シク御取捨ヲ願フテ宜シウゴザイマスガ、サウ云フ意味ニ於テ但書ヲ加ヘタイ、ソレハ官吏モ四十年ニナッテ居リマスケレドモ、官吏ハ長ク勤メマシレバ委任ニナルトカイロクノ特典ガゴザイマス、小學校ニハソレ等ノコトガ更ニナイノデス、官吏ト此點ハ必ズシモ四十年ヲ同様ニ見ル必要ハアルマイト思フ、殊ニ教員ノ感化退職後ニモ及ビ、又曩ニ文部次官ノ説明セラレタ如クニ、ソレハ大ニ希望スルト云フコトデアリマスレバ、其希望ハ法文ノ上ニ又現ハレ獎勵スル効力ヲ示シタ方ガ宜イト思ヒマス、ドウカ諸君ノ御贊同ヲ仰ギタイノデス、是テ第四條第一項ノ但書ニ當リマス、モウ一ツハ別表デスガ、此小別表ノ一番上ノ段ハ是ハ例外デゴザイマスカラ宜シウゴザイマスガ、第二段ノ六十五圓、七十五圓ノ所モ宜シイ、ソレカラ六十圓ノ段、五十五圓ノ段、五十圓、四十五圓、四十圓ノ段、是ハ皆ナ十五圓ヅ、上リニナッテ居リマスノデ、順序モ立ッテ宜イ、ソレカラ十五圓以上四十圓未滿ト云フ下ハ更ニ不秩序テ、下ノ方ハ十二圓上リ、其間ハ九圓上リト云フヤウニ先刻中林君ガ御質問ニナッタ通、私モ其算用ヲ平等ニシテ貴ヒタイト思フテ居リマス、ソレテ三十五圓以上四十圓未滿ノ所ガ百五圓ニナッテ居ルノ百八圓、三十圓以上三十五圓未滿ノ所ガ、九十圓ニナッテ居リマスノ百九十六圓ト致シ、ソレカラ二十五圓以上三十圓未滿ノ所ガ八十一圓ニナッテ居ルノ百八十四圓、サウ致シマスト十五圓未滿カラ四十五圓未滿マデノ間ハ、一貫シテ十二圓上リニナリマス上ハ此原案通り十五圓ヅ、上リニナリマス、殊ニ獎勵ヲ要スルノハ二十圓以上四十圓ノ邊ハ最モ獎勵ヲ要スベキ點デアリシ、且中林君ノ言ハレタ如ク下ノ方ガ割合ニ多クシテ少イノハ不順序デアリマスカラ、下ハ十二圓上リニ一貫シ、上ハ十五圓上リニ一貫スル、斯ウ云フコトニ御修正ヲ願ヒタイ、此二點デアリマス

○久保伊一郎君 荒川君ニ御尋シマスガ、十五圓ノ者ガ斯様ニ修正ニナルト、皆其割合ヲ以テスルノデスカ

○荒川五郎君 サウデス

○久保伊一郎君 第四條ニ但書ヲ加ヘルト云フ荒川君ノ修正、其文字ハ皆サンノ御協議ニ依リ簡シシテ明ナルコトニ願フテ宜イガ、其趣旨ハ非常ニ宜カラウト思ヒマス、現ニ現行法ニ「老朽用ニ堪ヘヌ者ハ第一條ニ年齡六十歳ヲ超ヘテ退職ヲ命シタルトキ」アリマスカラ、老朽用ニ堪ヘヌト云フモノハ退職ヲ命ズルコトモ出來ル、成程六十歳ニ至ラヌモノハ、自己ノ便宜ニ依ッテ退職シタルトキハ、此退隱料ヲ受クルノ資格ヲ失フト云フコトハ、現行法ノ六條ニゴザイマスカラ、サウスルト六十歳未滿ハ漫ニ退職スルコトハ出來ナイガ、六十歳以上ハ自己ノ便宜テ退職シテモ、退隱料ガ取ルコトガ出來ルノデアリマス、從ッテ用ニ堪ヘヌト云フコトハ退職ヲ命ズルコトガ出來ルノデアリマスカラ、荒川君ノ但書ヲ加ヘマシタ所デ、老朽用ニ堪ヘヌト云フモノハ心配ハ要ラヌ、サウ云フ心配ガナイコトニナレバ、偶々七十ニナッテモ大變教育ニ熱心ノ人ガアル、恰モ根本君ノ如キ教員トナラシケレドモ、教育ニハ熱心デアリマシタ給料ノ如何ニ拘ラズ熱心ノ度合ニ依ッテ尙一ツ兒童ノ薰陶ニ與ラウト云フ人が偶々アリマスル場合ニハ、大ニ之ヲ歡迎スルコトハ、最モ此在職四十年未滿ノ人ニ對シテ效果ヲ奏スルカト思ヒマス、何トカ餘リ金ヲ使フコトガ要ルマイト思ヒマス、但書ヲ加ヘルコトニ御同意ヲ致シマス

○文部大臣(牧野伸顯君) 唯今荒川君ノ修正ノ意見ガ出マシタガ、ソレニ付イテ參考ニ意見ヲ述ベテ置キマスガ、四十年ト云フコトヲ限度トシテ極メテ置キマスノハ、大體官吏恩給法ニ依ッテ定マッタコトデアリマス、此度改正ヲ加ヘマシテモ、大體ノ仕組ハヤハリ官吏ト同様ノ仕組デアリマス、實ハ率ニ於テハ當局ニ於テモ出來得ルナラバ四十年ノモノニハ、金額ヲ給スルコトヲ希望スルノデアリマスガ、イロクノ關係ガアリマシテ實行スル運ニ至リマセヌ、今日ノ場合先ヅ退隱料トシテハ三分ノ二ト云フコトニナレバ宜カラウト思ヒマス、ソレ以上ニナリマスト或ハ殆ド俸給ノ全額ニ近イモノニナリマス、先ヅ退隱料ト致シテハ、原則トシテ今日ノトコロ三分ノ二ト云フコトガ適當デアラウト思ヒマス、恩給ノ點ニ至ッテハ倍額ト云フコトハ今日ノトコロ適當デアリマス、若シ四十年以上ト云フコトニナルト、三分ノ二ト云フ限度ヲ越シテ俸給全額ト云フコトニ碩德ヲ優遇スルコトハ御同感デアリマス、ソレ等ハ他ノ方法ヲ以テ致スコトハ希望致スルノデアリマス

○政府委員(澤柳政太郎君) 尙御參考ニ申上テ置キマスガ、小學校ノ教員ノ退隱料ハ、教員ノ制度ノ確立シタ時ヲ起算點ト定メルト云フコトニナッテ居リマスガ、明治十四年カラ始メテ居リマス、其前明治十六年頃カラ小學校ハアリマスケレドモ、ソレ等ハマダ誰ガ正教員デアるか、准教員デアるか分リマセヌ、ソレテ明治十四年ヲ起算點ト致シテ居リマス、ソレテ四十年ト云フコトハ五十六年ニナリマセヌト、四十年ノモノガ出來マセヌ、寺小屋時代カラ勤メテ居リマシテモ、起算點ガサウ云フコトニナッテ居リマスカラ、ソレテ他ノ恩給ト權衡上其邊ニ付イテ將來餘程長ク研究シテ見ナケレバ分リマセヌ、尙表ノ方ノ御話デアリマスガ、是ハ先刻モ申シマス通ニ、十五年ノトコロハ大躰ニ於テ現在ト同ジ趣意テ出來テ居リマス、目立ッテコロハ四十年、必ズシモ四十年テナクテモ宜イガ、三十九年トカ八年トカ云フトコロニ至ッテ、現在ヨリモ約一倍トシマスト全額デアリマセヌデ、現在二百四十分ノ八十五マデ往ク、ソレテ今度ハ二百八十分ノ百六十マデ宜カラウト云フノデアリマスカラ、二倍ニハ少シ足リマセヌ、一倍ニスルト二百四十分ノ百七十二シナケレバ、現在ノ一倍ニナリマセヌガ、詰リ三十六七年八年ト云フ所ヲ目途トシテ、ソコ

迄勤メハ老イテ老ヲ托スルニ足ル、退隱料を得ラレノヲ目的トシテ作ツタノデアリマス、此表ヲ横ニ御覽ニナルト分リマスガ、極ク正確ニ出來テ居リマセヌ、四拾五入ヲシテアリマス、ソレデアリマスカラ九圓横ニ一年増ヌタメニ増ヌ所モアレバ、或ハ八年ニナツタ所モアルト云フヤウナ、端數ノ五以上ハ繰上ケ、其以下ハ切捨ルト云フコトニシテアリマスノデ、少シ不整頓ノヤウニ見エマス、サウ云フ工合ニナツテ居リマス、畢竟十五年ノ所ガ主デナクシテ、ズツト終リノ方へ往ツタ方ガ主ノ目的デアリマスカラ、成ルベクハ一ツ原案デ御通過ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

○久保伊一郎君 此明文ニモアル通り、六十歳ニ至ラヌモノデ退隱料ヲ取ラウト掛ツテコツカラ退職シタ奴ハ取りマセヌカ

○政府委員(澤柳政太郎君) ソレハ取レマセヌ

○久保伊一郎君 何處へ往ツテモ……

○政府委員(松村茂助君) 一番シマヒニ退職シタ縣デ……

○久保伊一郎君 ソレハ自個ノ勝手デハ往キマセヌカ

○政府委員(松村茂助君) サウデス

○久保伊一郎君 此明文ニモアル通り、六十歳ニ至ラヌモノデ退隱料ヲ取ラウト掛ツテコツカラ退職シタ奴ハ取りマセヌカ

○政府委員(澤柳政太郎君) ソレハ取レマセヌ

○久保伊一郎君 官廳ノ方カラ罷メロト言ハレルマデハ、何時マデモクツ付イテ居ルモノデナケレバ、權利ハ無イノデスカ

○政府委員(松村茂助君) 病氣ノタメトカ、又學校ガ學制變更ノタメ大キクナルトカ、小サクナルトカシテ、ソレガタメニ人が要ラナクナレバ、其時ハ退職ヲ命ジマス、ソレハ自分ノ都合ニアラズシテ學校ノ都合テ止スカラ、其人ニハ恩給ハヤリマス

○中林友信君 多クハ申シマセヌガ、第四條ノ荒川君ノ四十一年以上ノ者ニハ尙退隱料ヲ與ヘル方法ヲ規定シテ置カウト云フコトハ、精神ニ於テハ私共モ教員ヲ優遇スル上ニ於テ、及ビ良教員ヲ得テ、而シテ感化ヲ兒童ヤ町村民ニ與ヘル上ニ於テ、敢テ反對ニ唱ヘルノデハナイノデゴザイマスケレドモ、既ニ四十年勤續シマシテ、四十一年以上ノ者ニ退隱料ヲ與フルコトヲ現實ニ規定スルヨリハ、文部大臣其他政府ノ考、及ビ教員ヲ監督スル人ノ考ニ依ツテ何カ四十一年以上モ勤續シタ特志ノ教員ニ向ツテハ、他ノ方法ヲ以テ不足ヲ補フト云フコトニシマシテ、第四條ハ原案ヲ私共ハ同意致シタイト思ヒマス、ソレカラ次ニ荒川君ノ修正ノ表ノ方ニ就イテハ、私モ疑問ヲ生マテ質問致シマシタヤウナ次第、三十五圓カラ四十圓マデ、三十圓カラ四十圓マデノ間ノ人ニ向ツテハ、十圓ノ差額ヨリ出テ來ナクテ、四十圓以上カラハ直チニ又十五圓ノ差額ガ出テ來ルノデ、其差ハ大キニ失スト思フデアリマス、多キニ失スト云ツテ吾々ガ教員ヲ優待スル意味ニ於テ多イノヲ削除スルト云フ消極的ニ持ツテ往カズシテ、三十圓以上カラ四十圓マデノ階級ニ於テハ、最初ノ十五圓未滿二十圓マデノ間ノ十二圓ノ差額ヲ、ヤハリ三十圓以上四十圓ノ間ニ於テモ持ツテ往キタイト思ヒマスガ故ニ、表中ノ二十圓以上三十五圓未滿、三十五圓以上四十圓未滿ト云フ二階級ヲ修正致シマスノハ、荒川君ニ同意シテ、此表ヲ横ニ見マシタ金額ニ就イテハ、更ニ政府ノ方ト折合セマシテ、十五年ノ退隱料ヲ

定メタ標準ニ依ツテ之ヲ四十年マデ殖シテ往クコトニ致シタト思ヒマス、要スルニ別表ノ方ノ意味ハ荒川君ニ贊成ヲ致シマス、第四條ノ四十年ト云フコトニ就イテハ、荒川君ニ御譲リヲ願ヒタイ、而シテ第四條ハ原案ニ同意ヲ致シタイ、詰リ私ハ別表ハ荒川君ノ意見通ニ贊成デス

○委員長(根本正君) ソレデハ決ヲ採リマス

○久保伊一郎君 チョット採決前ニ申上ゲマス、私ハ第四條ノ荒川君ノ說ニ贊成致シマシタガ、今中林君ノ說ガアリマシタカラ、餘程尤モト思ツレニ同意ヲ致シテ、先キノ贊成ハ取消シマス

○委員長(根本正君) 第四條ノ原案贊成ノ御方ハドウカ舉手ヲ願ヒマス

○委員長(根本正君) 満場一致デ原案通ニ決シマス、チョット大臣ヨリノ請求ガアリマスカラ、速記ヲ止メテ……

○委員長(根本正君) 一括シテ議題ニ供シマス、此四條ハ既ニ決定シテ居リマスカラ、其他ノ分モ原案ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(根本正君) ソレデハ別表ヲ議題ニ供シマス、是ハ先刻荒川君カラ一〇五ヲ八トスル、九〇ヲ九六トシ、八一ヲ八四トスル、此例ニ依ツテ數字ヲ三段ダケ四十年マデ改正スル、之ニ御同意ノ諸君ハ舉手ヲ願ヒマス

總員舉手

○委員長(根本正君) 満場一致、是ニテ此法律案ハ決シマシタ、今日ノ本會ニ報告スルコトニ致シマス、是デ散會シマス

午前十一時三十六分散會

明治四十年三月二十二日印刷

明治四十年三月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局